

パブリック・サービス研究分科会 「蔵書評価」 研究グループ報告書	
日時	2009年11月9日(月)
場所	慶応義塾大学(湘南藤沢キャンパス)
記録	瀬戸山(学習院大学)
参加者	伊東(女子美術大学)、椎名(明治学院大学)、清水(和光大学)、瀬戸山

1. 発表(リハーサル)に対する会員からの意見

12月の報告大会に向けて、清水が発表リハーサルをおこない、以下のような意見が出された。

- 1) テーマ選択との目的・背景をもっと明確にしたほうが良い
- 2) 主題書誌リストを経営学にした理由をもっと明確にしたほうが良い
- 3) 最終的な成果として何を提示できるか
- 4) テーマが揺れている。あくまでも蔵書評価に主眼を置くのであれば、タイトルと構成を修正したほうが良い。現状では、チェックリスト論になっている
- 5) 経済学のように～派と明確にはなっていないかもしれないが、一口に経営学といっても、色々ある。したがって、各大学の経営学部(学科)が目指す方向も色々あり、チェックリストが特定の方向を持ったものだ、と、所蔵率が変わってくる。学説史を調査し、今回作成したチェックリストがどのような方向性を持ったものなのかを補足し、チェックリストが普遍的な基準でないことを明示する必要があると思う

1)～4)については、今月中に再度集まり対応することとなった。また、5)については、夏合宿で調査した結果、経営学に～派のような方向性を見つけることができなかったので、今回は、チェックリストの作成上の問題点を述べる箇所で、普遍的基準でないことへ言及することとした。

2. 今後の予定

- ～12/2 報告大会用パワーポイントファイル提出
12月定例会 最終リハーサル
12/15 報告大会

以上